

全期財政状況



4月に開校した小山ヶ丘小学校

一般会計・特別会計の状況

平成16年度の各会計ごとの収入額、支出額、差引額は下表のとおりです。

会 計	収 入 額	支 出 額	差 引 額	
一 般 会 計	1,165億8,788万円	1,145億 427万円	20億8,361万円	
特 別 会 計	国民健康保険事業会計	315億8,499万円	309億8,646万円	5億9,853万円
	下水道事業会計	126億1,491万円	122億3,228万円	3億8,263万円
	忠生土地区画整理事業会計	19億9,407万円	19億9,188万円	219万円
	駐車場事業会計	2億4,147万円	2億1,939万円	2,208万円
	老人保健医療事業会計	242億2,070万円	242億2,069万円	1万円
	鶴川駅北土地区画整理事業会計	13億 56万円	12億9,969万円	87万円
	介護保険事業会計	162億8,467万円	161億3,750万円	1億4,717万円
	受託水道事業会計	43億6,296万円	43億6,296万円	0万円
	小 計	926億 433万円	914億5,085万円	11億5,348万円
合 計	2,091億9,221万円	2,059億5,512万円	32億3,709万円	

(万円未満四捨五入)

市有財産の状況

区 分	現 在 高
土 地	460万2,971.56㎡
建 物	97万4,120.82㎡
物 権	1,122.51㎡
備 品 (取得価格100万円以上)	1,496台
積 立 金	202億9,364万円
有 価 証 券	7,660万円
出 資 金	34億9,618万円
貸 付 金	7,395万円
無 体 財 産 権 (商標権・実用新案権)	29件

市債の状況

市債とは、都市計画道路・公園・下水道・学校など大規模な公共施設建設の財源として市が借り入れるお金で、その返済が長期にわたるものをいいます。

こうした施設は長期にわたり利用することができますから、建設時の市民だけではなく将来の市民にもその経費を負担してもらうことが、公平でもあるわけです。市債には、このように積極的な意義を持つ面がありますが、借金であることに変わりはなく、その運用には十分注意しなければなりません。

会 計	元 金 残 高	将来負担利子見込額
一 般 会 計	715億7,989万円	97億6,990万円
下水道事業会計	516億 382万円	171億1,994万円
病院事業会計	91億6,404万円	26億7,206万円
合 計	1,323億4,775万円	295億6,190万円

(万円未満四捨五入)

企業会計【病院事業会計】

平成16年度の市民病院の利用状況は、入院患者数が対前年度比3.2%減、外来患者数が対前年度比2.2%減で、料金収入では6.2%前年を下回りました。

費用では前年度比0.3%減で、決算の結果は1億2,712万円の純損失となり、当年度未処分利益剰余金は10億1,787万円となりました。

利用状況と料金収益

(税抜き)

	患 者 数	料 金 収 益
入 院	126,145人	51億 966万円
外 来	313,210人	32億7,390万円

収入・支出の状況

(税込み)

	収 益 的 収 支	資 本 的 収 支
収 入 額	105億6,399万円	3億5,639万円
支 出 額	106億8,453万円	11億9,275万円

(万円未満四捨五入)

市民一人当たりの市税負担額・還元額

市民の皆さんが納めた税金は、ごみ処理・道路・下水道・公園等の都市基盤整備、児童・高齢者福祉施設や教育文化施設の整備、防災まちづくり等と様々な事業に使われています。平成16年度における市税収入額を人口で割ると市民一人当たりの市税負担額が、一般会計歳出額を人口で割ると市民一人当たりの還元額が算出されます。

市民一人当たりの市税負担額

15万3,519円

市民一人当たりの還元額

28万1,966円

[人口：406,092人
2005年4月1日現在]

各目的別に市民一人当たりの還元額を示すと次のとおりです。

議 会 費 1,502円	総 務 費 36,179円	民 生 費 94,292円	衛 生 費 30,831円	労 働 費 145円	農 林 費 512円
商 工 費 1,182円	土 木 費 35,471円	消 防 費 11,109円	教 育 費 36,484円	公 債 費 34,259円	